

農地等の利用状況報告書

事業年度の開始日と終了日
を記入してください。

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

記入日を記入してください。

令和 6 年 6 月 1 日

鳥取市農業委員会会長 様

所在地 鳥取市幸町71番地

名称 株式会社 ○○○○

代表者氏名 代表取締役 ○○○○

印

電話番号 0857-22-8111

農業経営基盤強化促進法第19条及び農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定により賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた農地について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 農業経営基盤強化促進法第18条第2項第6号及び法律第18条第5項第3号に規定する者の氏名等

法人登記簿に記載されている正式名称、
役職、氏名、所在地を記入してください。

氏名	住所
株式会社 ○○○○ 代表取締役 ○○○○	鳥取市幸町71番地

- 2 報告に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	作物の種類別作付面積 又は栽培面積 (㎡)	生産数量 (kg)	反収 (kg/10a)	備考
	登記簿	現況					
幸町○○	田	田	2,000	水稻 2,000㎡	1,072	536	
幸町△△	田	田	1,500	水稻 1,500㎡	717	478	

- 3 上記2に記載されている農地の農業上の利用に及ぼしている影響
定期的に草刈り等の管理をしており、周辺の農地に影響はない。

周辺の農地や作物に影響を及ぼしていないことが分かる内容を記入してください。

- 4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況
地域での話し合いに参加している。

例えば、農業に関する話し合いへの参加、農道やため池の草刈り、用排水路の点検修理に参加など。

5 業務執行役員又は重要な使用人の状況

氏名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
〇〇〇〇	取締役	300日

6 その他参考となるべき事項

農業に常時従事（原則年間150日以上）した役員を記入してください。
 ※常時従事した役員がない場合は、重要な使用人を記入してください。
 （例）農場長、農業部門の部長など

（記載要領）

- 1 不要の文字は抹消してください。
- 2 報告書を提出する者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付してください。
- 3 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 4 記の3の「上記2に記載されている農地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 5 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
- 6 記の5の「業務執行役員又は重要な使用人の状況」については、報告書を提出する者が個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。

